



平成26年 ボランティアリーダー研修会

7月の第4・5水曜日に筑紫野市生涯学習センターで、ボランティアリーダー研修会を開催しました。この研修会は、筑紫地区でボランティア活動に尽力され、今後地域のボランティアリーダーとして活躍が期待される方々が参加し、「AEDを使用した心肺蘇生法」「児童の見守り活動」「少年への声かけ要領」「交通事故及び飲酒運転の撲滅」について実践型の講習が行われました。



4市1町治安報告会 平成26年上半期 を開催

7月28日、春日警察署で4市1町の各首長、地元選出県議に対して、筑紫地区の治安情勢について報告会を開催しました。春日・筑紫野両警察署から、本年上半期の筑紫地区の犯罪や交通事故発生状況、警察の施策や今後の課題等について説明を行いました。



那珂川町

岩戸北小学校で 不審者対応訓練を実施

6月17日、岩戸北小学校で不審者侵入時の避難訓練をメインとした防犯教室を実施しました。不審者に扮する先生が教室に侵入すると、先生方が刺股などを使って不審者を制圧し、子どもたちも先生の指示に従い、落ち着いた様子で避難しました。

また、訓練終了後の教職員との検討会では、子どもを守るための刺股の効果的な使用方法などについて活発な意見交換が行われました。



訓練の様子

筑紫野市 通古賀老人クラブ

6月9日、筑紫野市の通古賀老人クラブの方々に対し、交通安全・二セ電話詐欺被害防止教室を実施しました。

初めに、交通事故の現状に続いて、道路を横断する時の注意点や、夜間に外出する際の反射材の活用、明るい服着用の効果を説明しました。

次に、過去最悪のペースで発生している『二セ電話詐欺』について、発生状況や騙しの手口をDVD等を使って説明し、「うまい話は信用しない」「身に覚えのない請求等は必ず誰かに相談する」ように注意を呼びかけました。

家族や地域の絆で、お互いに注意し合い、交通事故や犯罪被害に遭わないようにしましょう。

*『二セ電話詐欺』とは…身内(息子や孫)、警察や裁判所等の公的機関の職員、銀行員など、いろいろな立場になりました二セ者(犯人)が電話をかけて騙す詐欺



大野城市 安全安心まちづくりふれあい教室

7月3日、大野城市立下大利小学校で「安全安心まちづくりふれあい教室」を開催しました。この教室は、筑紫地区の将来を担う子どもたちが、自分たちを守ってくれる警察や見守り活動をしている防犯ボランティア等と直接接することで、防犯意識を高めるとともに、子どもたちの心によい思い出を持たせ、健全育成を図ることを目的としています。

この教室では、警察官と児童による寸劇や少年非行防止講話、交通安全講話も行われ、最後に県警音楽隊とカラーガードによる演奏・演技が行われるなど、子どもたちは大喜びでした。



太宰府市 西鉄都府楼前駅でキャンペーン

5月23日、西鉄都府楼前駅周辺で、筑紫野警察署、筑紫地区警備業防犯協議会、筑紫地区防犯協会が協働して、性犯罪等被害防止キャンペーンを実施しました。

太宰府市では平成25年中に性犯罪と自転車盗が増加し、特に性犯罪は、前年より66.7パーセント増加という結果になりました。

駅周辺で多発傾向にある性犯罪、自転車盗の被害に遭わないよう、また自転車の駐輪について歩道や車道に放置せず駐輪場を利用するよう、駅利用者みなさんにチラシを配布し、注意を呼びかけました。



キャンペーンの様子

春日市

地域安全市民のつどい・暴力追放決起大会

暴力団追放!



7月23日、春日市ふれあい文化センターにおいて「地域安全市民のつどい・暴力追放決起大会」が開催されました。

大会は、春日市長、および春日警察署長のあいさつ等の大会式典、防犯・少年非行防止

と交通安全についての講話、暴力団追放に関する講演、および暴力団追放宣言とシュプレヒコール等が行われました。暴力団追放に関する講演では、春日警察署刑事第二課長が、福岡県の暴力団情勢と壊滅に向けての取り組み等を説明し、壊滅には市民の理解と協力が必要であることを訴えました。そして暴力団追放宣言と参加者全員によるシュプレヒコールで、春日市の官民一体となった暴力追放の機運は一気に高まりました。



第43回 九州地区消防救助技術指導会

7月18日、第43回九州地区消防救助技術指導会が宮崎県で開催され、5月の第40回福岡県消防救助技術指導会を勝ち抜いた筑紫野太宰府消防本部の引揚救助1チームとロープブリッジ救出2チーム、障害突破2チームが出場しました。

この大会でロープブリッジ救出の神原チーム、障害突破の鬼塚チームが見事入賞を果たしました。

災害から市民を守る消防本部では、今後も日ごろの厳しい訓練に励むとともに、災害のない、災害に強い「安全で安心なまちづくり」に取り組むべく、決意を新たにしました。



～ 台風災害を防ぐには ～

梅雨期が過ぎ、台風シーズンが到来します。台風や地震など発生の予測が極めて困難な災害による被害を最小限に止めるためには、平素から防災の知識や対策等を積極的に広報し、県民の防災意識を高めることが重要です。

1 台風が来る前に

台風が接近しているときに屋外に出るのは大変危険です。気象情報を利用して台風が来る前に対策をとりましょう。

① 家の外の備え

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要ならば外から棧を打ち付け補強しましょう。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- 風で飛ばされそうな物は、飛ばないように固定するか、家の中へ格納しましょう。



② 家の中の備え

- 懐中電灯、携帯ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、貴重品、非常用食料等を準備しておきましょう。
- ガラス窓が割れたときの飛散を防ぐためにガラス窓にテープを貼ったり、万が一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドを降ろしておきましょう。
- 断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しておきましょう。

③ 避難場所の確認

学校や公民館等、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておきましょう。

犯罪・人身交通事故・火災の発生状況

平成26年6月末の統計値です。

犯罪(刑法犯)発生状況

四市一町合計**2209**件
(前年同期比**2.0%**減)

筑紫地区全体としては減少していますが大野城市、那珂川町では増加しています。特に自転車盗・オートバイ盗などの乗り物盗が多く発生しています。管理の行き届いた駐輪場を利用し、二重ロックを心がけましょう。

人身交通事故発生状況

四市一町合計**1678**件
(前年同期比**8.0%**減)

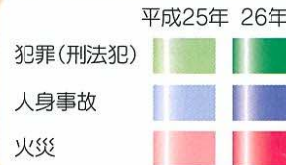
筑紫地区全体で減少しています。強い日差しを避けるための日傘やゲリラ豪雨を避ける雨傘は、視界を狭くします。傘をさす時は車やオートバイ・自転車に気をつけましょう。

火災発生状況

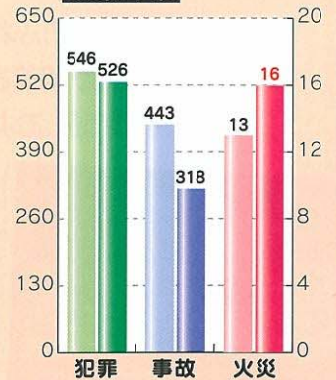
四市一町合計**61**件
(前年同期比**8.9%**増)

筑紫地区全体では増加しています。住宅用の火災警報器の設置が開始されて8年が経過しました。警報器は正常に作動していますか? 「いざ!」という時に警報器が動くよう日頃から作動確認とお手入れをしておきましょう。

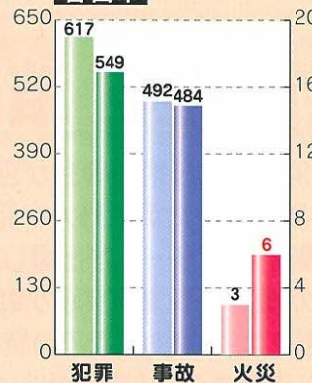
地区別発生件数 昨年比較



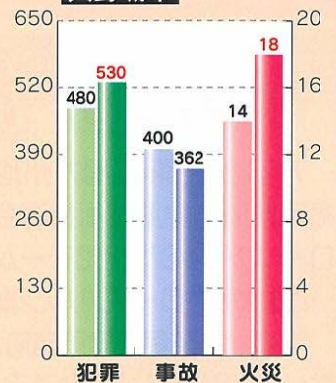
筑紫野市



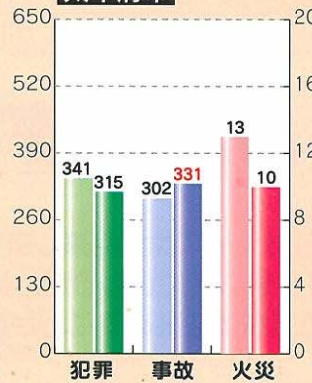
春日市



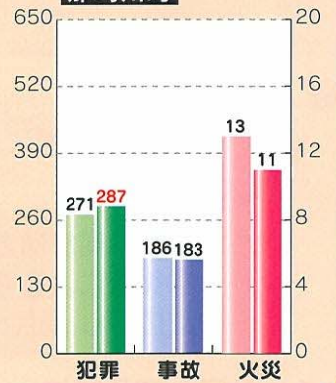
大野城市



太宰府市



那珂川町



事務局からのお知らせ

平成26年度全国統一防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」



安安ソング配信中!!

筑紫地区安全安心まちづくり運動の更なる推進を図るために作成した、安全安心まちづくり推進歌(通称:安安ソング)を、ホームページで無料配信中です!

[安安ソング](#) [検索](#)

地域パトロールにお勧め!MP3プレーヤー&スピーカーセット貸し出し中

あらかじめ音声を録音し、防犯情報などを街頭放送しながらパトロールできるMP3プレーヤーとスピーカーのセットを2ヶ月間無料で貸し出し致します。購入をお考えの方など、詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。



装着例